

彼方「あなた」

校長通信
H25.3.6
Vol.37

【ラストスパート】



高校の発表と千葉県の公立の二次募集の結果を待つのみとなりました。まだ、決まっていない生徒達にとっては、とても不安な気持ちですが、「サクラサク！」の吉報が全員に届くまで、みんな祈っているところです。

そんな中、今週四日(火)に一、二年生が、感謝の気持ちを含めて「三年生を送る会」を催してくれました。一年生は「二〇〇万回生きたネコ」という劇を、二年生は、二〇二〇年の東京オリンピックを舞台にした自作のシナリオで三年生の歩

卒業式まで後一週間となり、三年生にとっては、最大の山場、千葉県公立高校の後期の合格発表を迎えました。卒業後の進路が

決定していない生徒が、三分の一でしたが、そのほとんどの生徒が進路を決めることができました。後は卒業式後の茨城県の公立

なで心を込めて協力してきた様子は何えました。三年生の感想でも「二年生の劇、おもしろかったな。」「手が込んでいて、すごいよな。」「と素直に楽しんでいたので印象に残りました。一年生のみなさんの劇に感激していましたよ！」



みを再現するというなかなか凝った演出の劇に仕上げてくださいました。

一年生は、劇の台詞のたどたどしさはありましたが、背景や大道具、衣装、小道具、スライドといった裏方の活動も含め、本当に一生懸命でした。学年みんな

二年生の発表は、さすが学校の中心として頑張っている学年にふさわしい発表でした。場面展開や間がとても良く、観ている三年生も引き込まれていました。役者の台詞回しも上手で、堂々としていたのが印象に残りました。三年生の多くが「劇の中に先生や仲間が登場したのがとてもおもしろかった。」「真剣にやってくれていて本当にうれしかった。」「感動しました。」「ありがとうございました。」「とうございました。」「というような素直な感想が沢



生もものすごい頑張りをを見せてくれたのだと思います。この行事を通して、また一回り成長したように思います。

そして会の最後にお礼の気持ちを込めて、三年生が工夫を凝らし、例年にないスライドや合唱、四段塔

の再現を組み込み、お世話になった多くの人に自分達の感謝の気持ちを届けるように発表していました。特に三年生をやる気に変えた体育祭の再現では、全員が注目する中、本番同様に自力で四段塔を見事に完成させました。さすが三年生といった感がありました。三年生の発表も練習時間がなかったのに実に真剣で見事でした。

人の気持ちを動かすのは、相手を思う強い気持ちです。どの学年にも言えることですが、観た人の心が動かされたのは、「ありがとう」という感謝の気持ち

が表現されたからだと思えます。笑顔が溢れる温かな時間が底冷えする体育館に流れていました。

来週十二日の卒業式がみんなで創り上げる最後の行事です。三年生にとって素晴らしい式になるようみんなラストスパートです！



山述べられていました。時間が無い中での準備を考えれば、一年生も二年

